

消費者2000人を対象とした「コインランドリーに関する利用実態・意識調査」

コインランドリーの利用経験率は過去最高に。 コインランドリーにもキャッシュレス化の波。

コインランドリービジネスのコンサルティング事業を展開する株式会社ダイワコーポレーション(本社:横浜市青葉区 代表取締役:宮園誠士郎)は、「全国男女2000人のコインランドリー利用実態および意識調査」(第4回)を実施しましたので、その主要結果をお知らせ致します。

【主要な調査結果】

- ◆ **コインランドリーの利用経験率は67.7%と過去最高。**
 - ・昨年の調査時と比較し、利用経験率(=これまでに一度でも利用したことがある人の割合)は1%増加、過去3年の調査結果の中でもっとも高い割合になりました。
- ◆ **コインランドリーをよく使う人は「雨の日」「洗濯物がたまった時」などに利用。**
 - ・コインランドリー利用者の中で、利用頻度が高い人は「雨だった」「洗濯物がたまった」など日常的に利用されている理由が上位にあがります。
- ◆ **洗濯乾燥機の利用率が高まる傾向に。**
 - ・2017年の調査時と比較し、「洗濯乾燥機(1台で洗濯も乾燥もできるもの)の利用率が8%増加しています。
 - ・用途に合わせて、利用する洗濯機器も多様化しています。
- ◆ **コインランドリーにもキャッシュレス化の波。**
 - ・現コインランドリーユーザーのうち、現金以外の決済方法を利用したいと答える人は72%。

【調査概要】

調査名:第4回コインランドリーに関する利用実態・意識調査

※第1回調査は2016年4月、第2回調査は2017年10月、

第3回調査は2018年10月に実施

調査対象:国内居住の18才~69歳の男女

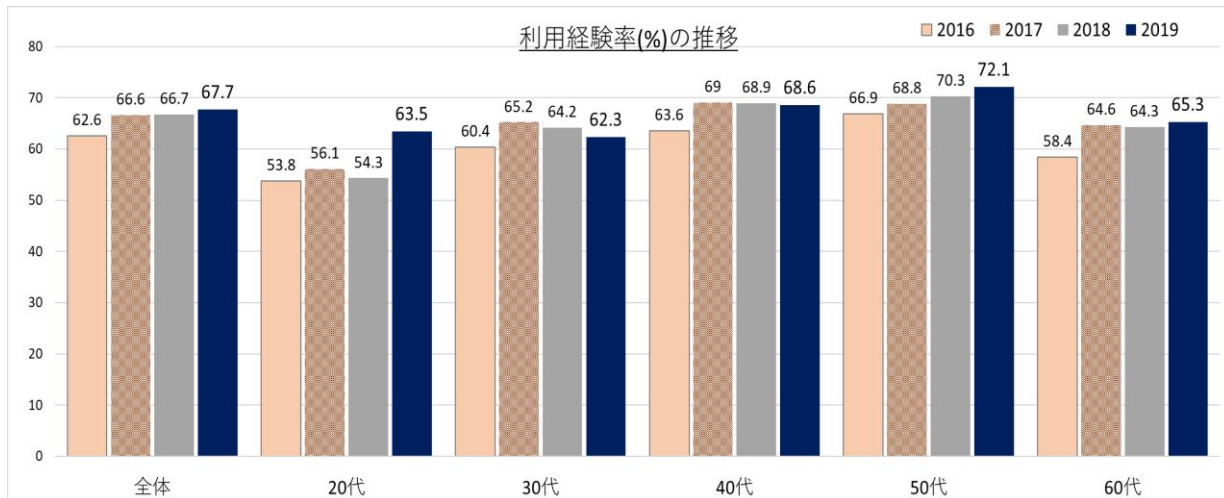
有効サンプル数:2,000名

実施時期:2019年10月中旬

調査方法:インターネット調査

調査実施機関:株式会社ネオマーケティング

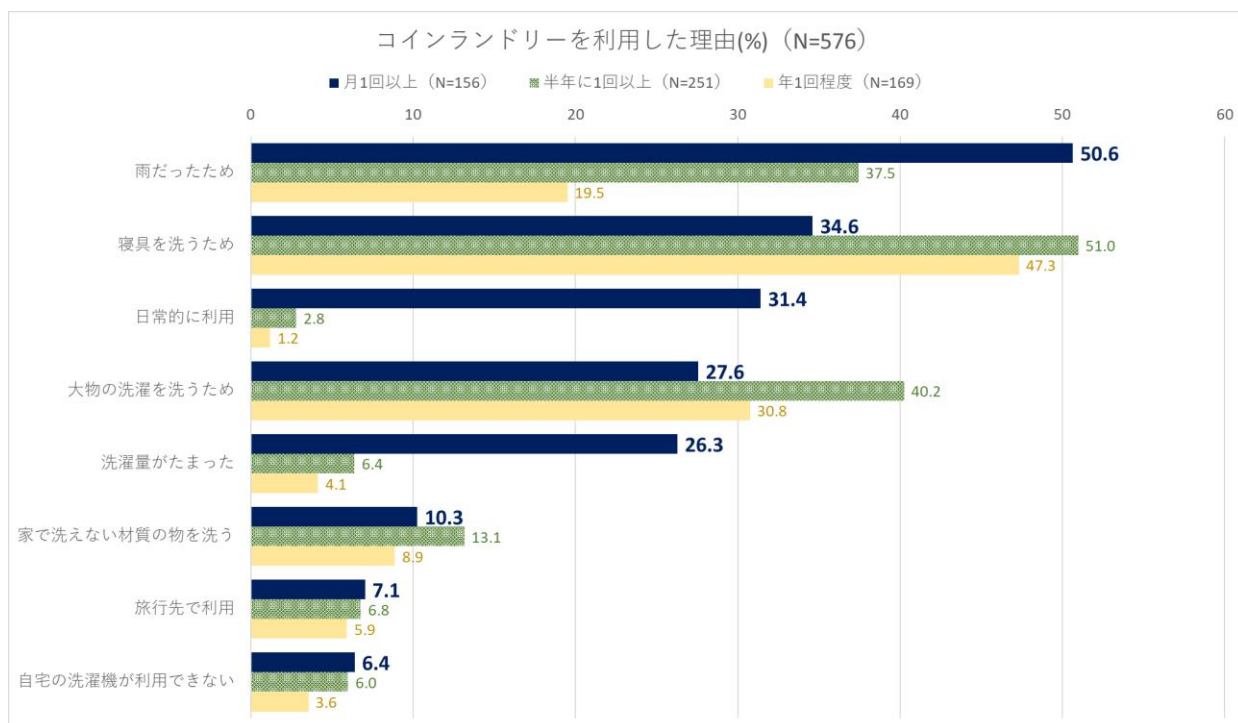
コインランドリーの利用経験率は67.7%と過去最高。



これまでに一度でもコインランドリーを利用したことがある「利用経験率」は、前回調査(2018年10月)に比べて1%増加しています。調査開始の2016年以来毎年利用経験者は増加しており、過去最高に。利用者は確実に拡大していることがわかります。

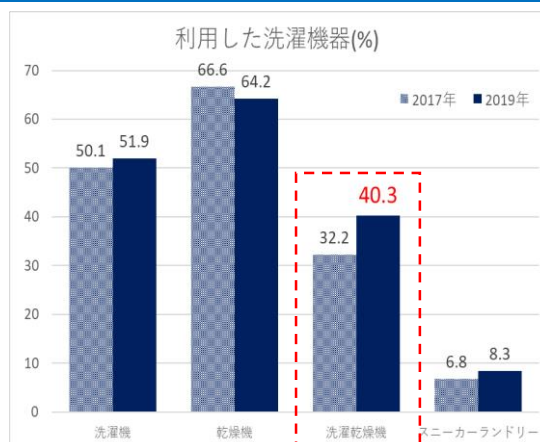
コインランドリーをよく使う人は、「雨の日」「洗濯物がたまった時」など日常的に利用。

コインランドリー利用者が、コインランドリーを利用した理由(利用動機)では、利用頻度の低い人(半年に1回程度、年1回程度)は、「寝具を洗うため」や「大物の洗濯を洗うため」といった理由が多くなる一方で、利用頻度の高い人は、雨の日や洗濯物がたまった時など日常的にコインランドリーを利用するようです。



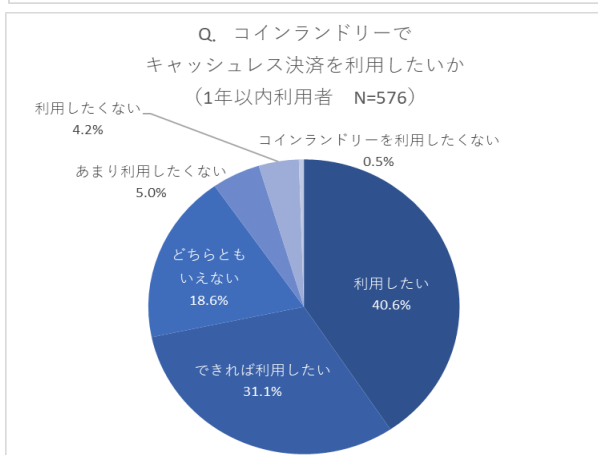
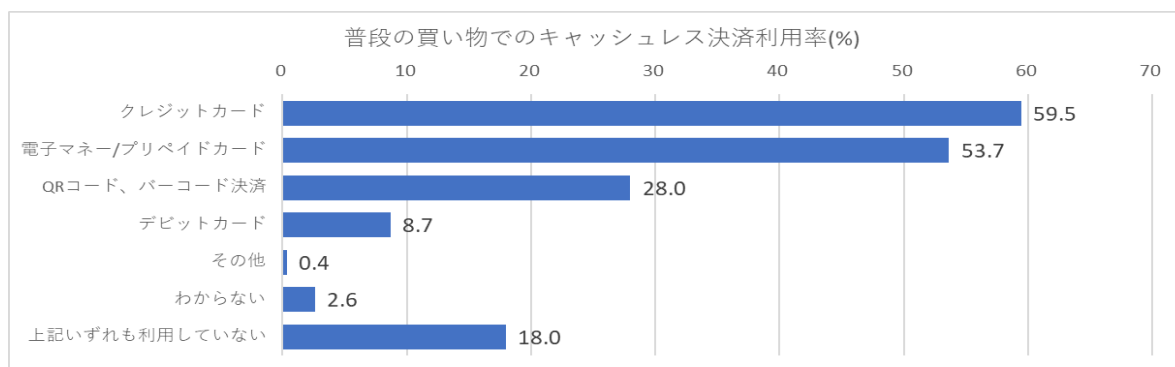
洗濯乾燥機の利用率が高まる傾向に。

利用者における洗濯機器別利用率は、利用率が高い順に「乾燥機」64.2%、「洗濯機」51.9%、「洗濯乾燥機」40.3%となり、利用する機器は多様化の傾向。とくに洗濯乾燥機はその普及に伴い、2年前の調査と比較して利用率が8%も増加しています。洗濯から乾燥までの工程が1台でできる利便性を支持する人が増えていることがわかります。



コインランドリーにもキャッシュレス化の波。

普段の買い物でのキャッシュレス決済の利用状況は、クレジットカード決済がもっとも高く59.5%、次いで電子マネーやプリペイドが53.7%と続いています。近年普及率の高まる、QRコードやバーコードを利用した決済を取り入れている人は28%にとどまる結果となりました。



直近1年以内の利用者に対し、コインランドリーの利用時にキャッシュレス決済をしたいかとの質問をしたところ、「利用したい」「できれば利用したい」と回答した人を合わせると71.7%にも及びます。

利用したい理由として「支払いがスムーズだから」(71%)、「両替がいらなくなるから」(54%)となり、コインランドリー利用において、さらなる利便性を追求する回答が上位にあがる結果となりました。

本調査に関するお問い合わせ先

株式会社ダイワコーポレーション
 担当: 経営企画室 三谷真弓子
 TEL: 045-508-9807
 Mail: mayuko.mitani@daiwa-corp.com
 HP: <https://www.daiwa-corp.com/>

会社概要

設立: 1974年4月
 代表取締役: 宮園 誠士郎
 事業内容: コインランドリー事業企画開発
 業務用ランドリー機器卸売
 所在地: 横浜市青葉区青葉台2-6-17